

第2次湖西市多文化共生推進プラン（2016-2020）の取り組み結果評価

資料4

※次期プランでの重点取組No.は★を付けています。

基本施策1 情報提供の充実						
事業・施策No	資料3のページ	施策	内容	評価	今後の方向性	担当課
1★	資料3 p1	行政サービス・制度の周知を多言語・やさしい日本語にて実施	各種案内や通知など、行政サービスや制度の周知を多言語、ルビふり、やさしい日本語を用いて行います。	B:ある程度取り組めた	B:継続していきたい	各課
2	p2	多言語ウェブサイトの充実とSNSを利用した情報発信の検討	市ウェブサイトの多言語での情報提供の充実を図ります。 また、多くの外国人市民が利用しているSNSを活用した情報発信の実施について検討します。	B:ある程度取り組めた	A:追加・拡充していきたい	観光交流課（企画政策課）
				B:ある程度取り組めた	A:追加・拡充していきたい	市民課（市民協働課）
3	p3	多言語版広報紙の発行・配布	多言語版広報紙を毎月発行し、配布します。 外国人市民に必要・有益な情報の充実や、多言語化を図ります。	A:十分取り組めた	B:継続していきたい	市民課（市民協働課）
4	p4	多言語版生活ガイドブックの作成と配布	多言語版生活ガイドブックを作成し、輸入手続き時などに配布します。 必要に応じて提供する情報を精査し、内容の充実を図ります。	A:十分取り組めた	A:追加・拡充していきたい	市民課（市民協働課）
				A:十分取り組めた	B:継続していきたい	市民課
5★	p5	通訳窓口の設置の継続と充実	通訳職員を配置した通訳窓口を継続して設置し、円滑な窓口対応を推進します。 地域の外国人市民を通訳職員に積極的に登用し、研修などによりスキルアップに取り組みます。	A:十分取り組めた	A:追加・拡充していきたい	市民課（市民協働課）
6★	p6	公共窓口におけるIT活用についての調査・研究	翻訳ソフトや翻訳アプリの公共施設における導入に向けて、他市町の状況や活用方法などを調査・研究します。	B:ある程度取り組めた	A:追加・拡充していきたい	市民課（市民協働課）
7	p7	外国語通訳者派遣事業の推進	外国語通訳者派遣事業における通訳者の充実と研修などによる育成を行います。 事業の周知により活用を促し、外国人市民への情報提供の充実を図るとともに、地域の外国人市民を通訳者として積極的に活用するよう努めます。	B:ある程度取り組めた	B:継続していきたい	市民課（市民協働課）
8	p8	やさしい日本語の活用啓発	普段の業務や生活・地域において「やさしい日本語」の実践的な活用を促すため、市職員や市民に対して研修・啓発を実施し、その習得を図ります。	A:十分取り組めた	E:その他	市民課（市民協働課）
総評				A:十分取り組めた：5件 B:ある程度取り組めた：5件 C:あまりできなかった：0件 D:できなかった：0件 E:事業未実施：0件	A:追加・拡充していきたい：5件 B:継続していきたい：4件 C:縮小したい：0件 D:終了したい：0件 E:その他：1件	

基本施策2 日本語や日本社会に関する学習支援						
事業・施策No	資料3のページ	施策	内容	評価	今後の方向性	担当課
★ 9	p9	日本語の学習 機会の提供	日本語初級者に対する、生活者としての日本語教室を開催し、外国人市民の日本語習得を支援します。 また、未就学児に対する日本語教室を開催し、日本語の習得を支援しながら日本の学校生活について学ぶ機会を提供します。	A:十分 取り組めた	A:追加・拡充していきたい	市民課（市民協働課）
				A:十分 取り組めた	B:継続していきたい	産業振興課
10	p10	日本語学習 支援ボランティアの育成	日本語ボランティア養成講座の開催などにより日本語学習 支援の担い手となるボランティアを育成します。	B:ある程度取り組めた	E:その他	市民課（市民協働課）
11	p11～12	日本の地域社会への理解促進	ごみの出し方や分別方法などの地域社会ルールを外国人市民にも分かりやすく周知し、日本で生活するためのマナーや生活習慣の理解促進に努めます。	B:ある程度取り組めた	B:継続していきたい	廃棄物対策課
				A:十分 取り組めた	B:継続していきたい	市民課
				B:ある程度取り組めた	B:継続していきたい	産業振興課（商工 観光課）
				B:ある程度取り組めた	B:継続していきたい	市民課（市民協働課）
まとめ 総評		<ul style="list-style-type: none"> 日本語初心者や未就学児等を対象とした日本語教室の開催等、日本語学習 支援を展開した。今後も、基礎的な日本語の学習機会の提供を充実していく必要がある。 企業が雇用する従業員の日本語学習支援について、支援体制を検討する必要がある。 日本語ボランティアの育成に限らず、コーディネーター・日本語教師・日本語ボランティアの役割の明確化、活躍の場の設定など、日本語教室を取り巻く環境を整備していくことが課題である。 様々な情報 発信を通じて、地域社会への理解を進めたが、多言語対応や発信する情報へのアクセスのしやすさを更に推進していく必要がある。 	A:十分 取り組めた：3件 B:ある程度取り組めた：4件 C:あまりできなかった：0件 D:できなかった：0件 E:事業未実施：0件	A:追加・拡充していきたい：1件 B:継続していきたい：5件 C:縮小したい：0件 D:終了したい：0件 E:その他：1件		

基本施策3 教育環境の整備						
事業・施策No	資料3のページ	施策	内容	評価	今後の方向性	担当課
12	p13	外国人児童生徒や保護者に対する教育についての意識啓発	外国人児童生徒及び保護者に対し、日本の教育制度の仕組みや学校生活、進学に関する情報を提供をそれぞれに行い、就学意識の高揚と理解の促進に努めます。	A:十分 取り組めた B:ある程度取り組めた	B:継続していききたい	学校 教育 課
★ 13	p14	外国人児童生徒や保護者に対する支援体制の充実	学期途中で編入する外国人児童生徒の初期指導や授業支援、教育相談、保護者への支援を行う指導員や通訳員を小学校・中学校に派遣します。 指導員・通訳員のスキルアップに努めます。	B:ある程度取り組めた	B:継続していききたい	学校 教育 課
14	p15	外国人児童生徒支援に関する連携の強化	外国人児童生徒支援協議会などを開催し、関係機関と外国人児童生徒の支援について情報の共有や取組の検討を行います。	B:ある程度取り組めた B:ある程度取り組めた	B:継続していききたい B:継続していききたい	学校 教育 課 市民課（市民協働課）
総評		<ul style="list-style-type: none"> 学校、多文化共生担当課、国際交流協会が連携し、外国人児童や保護者への支援を実施した。 常時通訳員や外国人対応指導教室 指導員を配置できていない学校もあり、支援体制の整備が課題となっている。 		A:十分 取り組めた：1件 B:ある程度取り組めた：4件 C:あまりできなかった：0件 D:できなかった：0件 E:事業未実施：0件	A:追加・拡充していききたい：0件 B:継続していききたい：5件 C:縮小したい：0件 D:終了したい：0件 E:その他：0件	

基本施策4 労働環境の整備						
事業・施策No	資料3のページ	施策	内容	評価	今後の方向性	担当課
15	p16	ハローワークとの連携による就業支援	ハローワークと連携し、外国人相談コーナーの充実などで就業支援を実施します。	A:十分 取り組めた	B:継続していきたい	産業振興課(商工 観光課)
16	p17	技能実習生 受入事業の支援	商工会の実施する技能実習生 受入 事業の支援を継続して行います。	A:十分 取り組めた	B:継続していきたい	産業振興課(商工 観光課)
				C:あまりできなかった	B:継続していきたい	市民課(市民協働課)
17	p18	企業との意見交換を通じた労働環境の整備の意識啓発	外国人市民の雇用に関わる企業と意見交換を行い、人権 保障 及び就労 環境 改善に向けた啓発に取り組みます。	C:あまりできなかった	E:その他	市民課(市民協働課)
				B:ある程度取り組めた	B:継続していきたい	産業振興課(商工 観光課)
総評		<ul style="list-style-type: none"> ハローワーク、湖西市商工会、職業 訓練センター等と連携し、就労 支援を実施した。 今後も技能実習生受入事業の支援を継続していく。 企業との意見交換は、時間的にも内容的にも難しいところがある。 		A:十分 取り組めた：2件 B:ある程度取り組めた：1件 C:あまりできなかった：2件 D:できなかった：0件 E:事業未実施：0件	A:追加・拡充していきたい：0件 B:継続していきたい：4件 C:縮小したい：0件 D:終了したい：0件 E:その他：1件	

基本施策5 安心してらせる環境づくり						
事業・施策No	資料3のページ	施策	内容	評価	今後の方向性	担当課
★ 18	p19~23	医療・福祉サービスにおける案内や表示の多言語化と多言語・やさしい日本語での対応	医療や健康、子育て、介護などの福祉サービスについて多言語化による情報提供や問診票などの多言語化を促進します。 医療 通訳者の適正な配置を継続して行います。また、健康・福祉に関する各種相談を多言語や、やさしい日本語で対応します。	B:ある程度取り組みました	B:継続していきたい	地域福祉課
				A:十分 取り組みました	B:継続していきたい	子育て支援課
				B:ある程度取り組みました	B:継続していきたい	長寿介護課
				A:十分 取り組みました	B:継続していきたい	健康増進課
				B:ある程度取り組みました	B:継続していきたい	病院 医事課
19	p24	医療・保健・福祉制度の周知と加入促進	外国人市民へパンフレットや出前講座を活用した健康保険・年金制度などのさらなる周知を行い、加入を促進します。 また、外国人市民を雇用する企業を通じた周知に取り組み、併せて企業への意識啓発を行います。	C:あまりできなかった	B:継続していきたい	保険年金課
				E:事業未実施	D:終了したい	産業振興課（商工 観光課）
				D:できなかった	E:その他	市民課（市民協働課）
20	p25	火災・救急 通報への多言語での対応	外国人市民に対し、火災・救急 時の通報の方法を周知します。 また、日本語以外での通報への対応を検討し実施します。	A:十分 取り組みました	B:継続していきたい	警防課
				B:ある程度取り組みました	B:継続していきたい	警防課
総評		<ul style="list-style-type: none"> 医療・福祉・防災といった様々な分野で多言語対応や支援を実施した。 相談対応への通訳ニーズが高まっており、福祉部門での通訳雇用やITを活用した通訳サービスの利用を検討していく必要がある。 	A:十分 取り組みました：3件 B:ある程度取り組みました：4件 C:あまりできなかった：1件 D:できなかった：1件 E:事業未実施：1件	A:追加・拡充してきたい：0件 B:継続してきたい：8件 C:縮小したい：0件 D:終了したい：1件 E:その他：1件		

基本施策6 防犯・交通安全・防災の意識啓発						
事業・施策No	資料3のページ	施策	内容	評価	今後の方向性	担当課
21	p26	防犯・交通安全に関する意識の啓発	防犯・交通ルールに関する情報 提供の多言語化や、やさしい日本語化を促進し、周知を行います。 防犯対策や交通安全対策の情報を知り、外国人市民を対象に開催します。	A:十分 取り組めた	B:継続していきたい	危機管理課
22	p27	地震に関する周知や意識の啓発	地震に関する知識や防災に関する情報 提供を多言語や、やさしい日本語を用いて行い、外国人市民の防災意識の向上と、災害時の被害の軽減を図ります。 防災意識を啓発するためのイベント・出前講座などを行い、外国人市民の防災基礎知識の習得を促進します。	A:十分 取り組めた	B:継続していきたい	危機管理課
				B:ある程度取り組めた	B:継続していきたい	予防課
23	p28	災害時に有用な人材の把握と育成	外国語通訳者派遣事業登録者などを活用し、災害時に地域で活躍できる人材の把握に努めます。また、研修などにより育成に努めます。	-	-	危機管理課
				C:あまりできなかった	E:その他	市民課（市民協働課）
24	p29～30	災害時の情報 伝達手段の多言語化	災害時の同報 無線の多言語放送や、防災ほっとメールのポルトガル語版の充実と多言語化を推進します。 また、避難所の表示物の多言語化を促進します。	-	-	危機管理課
				C:あまりできなかった	A:追加・拡充していきたい	観光交流課（企画政策課）
★ 25	p31	災害時の外国人対応の明確化	災害時において、外国人市民への対応を行う班を設置し、関係する各班と連携して対応をします。	A:十分 取り組めた	B:継続していきたい	市民課（市民協働課）
				D:できなかった	E:その他	市民課（市民協働課）
総評		<ul style="list-style-type: none"> 防犯・交通安全・防災に関する様々な情報 提供や啓発を実施した。 災害時の外国人対応の明確化は、必ず取り組まなければならない課題である。 		A:十分 取り組めた：3件 B:ある程度取り組めた：1件 C:あまりできなかった：2件 D:できなかった：1件 E:事業未実施：0件	A:追加・拡充していきたい：1件 B:継続していきたい：4件 C:縮小したい：0件 D:終了したい：0件 E:その他：2件	

基本施策7 多文化共生の意識づくり						
事業・施策No	資料3のページ	施策	内容	評価	今後の方向性	担当課
26	p32	人権 尊重を視点とした多文化共生の推進	出前講座や広報などを通して人権 尊重を視点とした多文化共生への理解を促進します。	B:ある程度取り組めた	B:継続していきたい	市民課 (市民協働課)
★ 27	p33	市職員への多文化共生についての意識啓発	多文化共生 意識を深めるため、意識啓発 研修などを実施します。	E:事業未実施	C:縮小したい	総務課
				B:ある程度取り組めた	B:継続していきたい	市民課 (市民協働課)
28	p34	多文化共生・国際理解に関する教育の推進	異なる言語・文化・習慣などに配慮した教育や違いを認め合う多文化共生 教育を行います。外国語指導助手 (ALT) を活用し、多文化共生の視点に立った国際理解教育の推進に努めます。	A:十分 取り組めた	B:継続していきたい	学校教育 課
29	p35～36	外国人市民の意見などの市政への反映	外国人市民の意見や要望を市政に反映させるため、審議会や委員会などに外国人市民が発用される環境を整備します。また、各種審議会などへの外国人市民の発用を推進します。外国人市民の多く利用する場所に意見を設置するなど広く意見を聴取する機会を確保します。	A:十分 取り組めた	B:継続していきたい	企画政策課
				C:あまりできなかった	E:その他	子育て支援課
				B:ある程度取り組めた	B:継続していきたい	市民課 (市民協働課)
総評		<p>学校や団体と連携し、多文化共生に関するセミナーや支援を実施しているが、時代やニーズに応じて継続していくことが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市役所職員に対して、やさしい日本語研修を中心に意識啓発を実施したが、今後は白旗の業務を通じて、やさしい日本語対応、通訳や翻訳の活用とともに外国にルーツのある市民への理解を深めるような意識啓発を継続していく。 小学校での外国語活動英語の授業が本格的に始まりALTによる異文化理解・多文化理解を促進することができた。 外国にルーツのある市民の審議会や委員会への発用等を通じて、外国人の意見を取り入れているが、同じ審議会や委員会での発用が続いている。 	<p>A:十分 取り組めた：2件</p> <p>B:ある程度取り組めた：3件</p> <p>C:あまりできなかった：1件</p> <p>D:できなかった：0件</p> <p>E:事業未実施：1件</p>	<p>A:追加・拡充していきたい：0件</p> <p>B:継続していきたい：5件</p> <p>C:縮小したい：1件</p> <p>D:終了したい：0件</p> <p>E:その他：1件</p>		

基本施策8 地域社会への参加促進						
事業・施策No	資料3のページ	施策	内容	評価	今後の方向性	担当課
★ 30	p37～38	外国人市民の地域社会への参画	自治会、自主防災会、PTA活動などを紹介し、外国人市民の地域社会への参画を促進します。	C:あまりできなかった	B:継続していきたい	市民課（市民協働課）
				-	-	危機管理課
				B:ある程度取り組めた	B:継続していきたい	学校教育課
				E:事業未実施	B:継続していきたい	社会教育課
★ 31	p39	多文化共生の視点での活動の推進	多文化共生意識及び相互理解を深め、外国人市民が地域社会とつながる機会・場をつくるため、多文化共生の視点での講座などを市内各地域で行います。 また、多文化共生に関する活動を推進するため、多文化共生センター（仮称）の設置の検討を継続して行います。	B:ある程度取り組めた	B:継続していきたい	市民課（市民協働課）
32	p40	市民団体の活動支援	多文化共生や国際交流を行っている市民団体の主体的な活動を支援します。	A:十分 取り組めた	B:継続していきたい	市民課（市民協働課）
				C:あまりできなかった	B:継続していきたい	観光交流課（企画政策課）
				B:ある程度取り組めた	B:継続していきたい	社会教育課
33	p41	多文化共生に関わる活動の担い手、人づくり	多文化共生に取り組む人材や各種団体の発掘・育成に努めます。また、多文化共生の担い手の連携を支援します。	B:ある程度取り組めた	B:継続していきたい	市民課（市民協働課）
総評				A:十分 取り組めた：1件 B:ある程度取り組めた：4件 C:あまりできなかった：2件 D:できなかった：0件 E:事業未実施：1件	A:追加・拡充していきたい：0件 B:継続していきたい：8件 C:縮小したい：0件 D:終了したい：0件 E:その他：0件	